

仲間探しから 仲間づくりへ

石川・輪島支部

要求いっぱい
会員大募集!



班活動交流会で発言する山下さん

能登半島地震から1年7カ月。つながりあつて仲間づくりに踏み出している輪島支部。全県班活動交流会(6月1日)の発言から紹介します。

全国の支援に励まされ

輪島支部は昨年1月1日、震度7の大地震

で大変な状況になりました。被災当初はとにかく日々生きていくことに精一杯で、他に目

で大変な状況になりました。被災当初はとにかく日々生きていくことに精一杯で、他に目から多くの支援物資や支援金が届き、温かい励ましの言葉もいただきました。消耗品や食品、絵手紙、ガレージバザーの収益金や、班で募ったカンパにみなさんの心配りが感じられ、励まされるものばかりでした。

1月半ば、県本部や中央本部をはじめ全国から多くの支援物資や支援金が届き、温かい励ましの言葉もいただきました。消耗品や食品、絵手紙、ガレージバザーの収益金や、班で募ったカンパにみなさんの心配りが感じられ、励まされるものばかりでした。

その理由はいくつかあって、一つは被災して本当に新婦人の良さを実感できたことです。避難先まで見舞金や支援物資を持って訪れ、話を聞き、力づけを届ける。市外でもしんぶんを届け、地域のつどいに誘ってくれる。どこにいても頼れて安心で

し、支援物資を持って訪ね、話を聞きました。電話がつながらず、安否や被災状況の確認に苦勞しながらも少しずつ所在が分かり、名簿化していきました。

会員、読者数が回復へ

そしても、被災で減ってしまった会員や読者の数がなんとか元に戻りつつあります。

その理由はいくつかあって、一つは被災して本当に新婦人の良さを実感できたことです。避難先まで見舞金や支援物資を持って訪れ、話を聞き、力づけを届ける。市外でもしんぶんを届け、地域のつどいに誘ってくれる。どこにいても頼れて安心で

を配る余裕が全くありませんでした。すべての面で不便で、特に水のない生活は本当に大変で、炊事やトイレをはじめ水の工面で一日が終わっていました。

1月半ば、県本部や中央本部をはじめ全国から多くの支援物資や支援金が届き、温かい励ましの言葉もいただきました。消耗品や食品、絵手紙、ガレージバザーの収益金や、班で募ったカンパにみなさんの心配りが感じられ、励まされるものばかりでした。

その理由はいくつかあって、一つは被災して本当に新婦人の良さを実感できたことです。避難先まで見舞金や支援物資を持って訪れ、話を聞き、力づけを届ける。市外でもしんぶんを届け、地域のつどいに誘ってくれる。どこにいても頼れて安心で

を配る余裕が全くありませんでした。すべての面で不便で、特に水のない生活は本当に大変で、炊事やトイレをはじめ水の工面で一日が終わっていました。

1月半ば、県本部や中央本部をはじめ全国から多くの支援物資や支援金が届き、温かい励ましの言葉もいただきました。消耗品や食品、絵手紙、ガレージバザーの収益金や、班で募ったカンパにみなさんの心配りが感じられ、励まされるものばかりでした。

その理由はいくつかあって、一つは被災して本当に新婦人の良さを実感できたことです。避難先まで見舞金や支援物資を持って訪れ、話を聞き、力づけを届ける。市外でもしんぶんを届け、地域のつどいに誘ってくれる。どこにいても頼れて安心で

を配る余裕が全くありませんでした。すべての面で不便で、特に水のない生活は本当に大変で、炊事やトイレをはじめ水の工面で一日が終わっていました。

1月半ば、県本部や中央本部をはじめ全国から多くの支援物資や支援金が届き、温かい励ましの言葉もいただきました。消耗品や食品、絵手紙、ガレージバザーの収益金や、班で募ったカンパにみなさんの心配りが感じられ、励まされるものばかりでした。

その理由はいくつかあって、一つは被災して本当に新婦人の良さを実感できたことです。避難先まで見舞金や支援物資を持って訪れ、話を聞き、力づけを届ける。市外でもしんぶんを届け、地域のつどいに誘ってくれる。どこにいても頼れて安心で



支援ボランティアと交流(24年12月 輪島市)

をすすめて読者が増えたり、「会員には…」と言っていた複数の読者が入会するという変化が起きています。

理由の二つ目は、被災4カ月から支部ニュースを作り、5カ月目からは支部委員会を開き、「仲間探し」や必要なことを話し合い、以後毎月つながり続けてきたこと。班会や小組もできるところから再開し、班会ではみんなの近況、要望などを聞き、しんぶんタイムもつたたくさんおしやべりする。そんな仲間同士がつながりあう地道な努力があつてこそと思います。

し、アドバイスをもらわれるから」と入会しました。

しかし支部は、まだまだ大変で、どこに住むかを決められない方もおり、たくさん悩みや不便も解消されていません。これからもみなさんの励ましや支えを頼りに、元気に活動していきたいと思つています。これまでは「(元の)仲間探し」でしたが、これからは「新しい仲間探し」をして「仲間づくり」へつなげていければと思います。

(支部長 山下ひな子)

2025年7月23日
新日本婦人の会
中央常任委員会

新しい仲間を迎え

支部委員会や班会では、少しでも若い方を迎えたいと話し合い、会員や読者のお子さんを訪問し、若い方を一人読者に迎えました。また、先月の絵手紙小組には、読者の要望から絵手紙ちぎり絵小組をつくり、その方を会員に迎えています。そして小組会場の公民館の主宰さんが紹介してくれた「絵手紙をした」という方をゲストに迎えました。その方は以前から絵手紙を描いていましたが、「一人で描くより楽しい

支部委員会や班会では、少しでも若い方を迎えたいと話し合い、会員や読者のお子さんを訪問し、若い方を一人読者に迎えました。また、先月の絵手紙小組には、読者の要望から絵手紙ちぎり絵小組をつくり、その方を会員に迎えています。そして小組会場の公民館の主宰さんが紹介してくれた「絵手紙をした」という方をゲストに迎えました。その方は以前から絵手紙を描いていましたが、「一人で描くより楽しい

支部委員会や班会では、少しでも若い方を迎えたいと話し合い、会員や読者のお子さんを訪問し、若い方を一人読者に迎えました。また、先月の絵手紙小組には、読者の要望から絵手紙ちぎり絵小組をつくり、その方を会員に迎えています。そして小組会場の公民館の主宰さんが紹介してくれた「絵手紙をした」という方をゲストに迎えました。その方は以前から絵手紙を描いていましたが、「一人で描くより楽しい

支部委員会や班会では、少しでも若い方を迎えたいと話し合い、会員や読者のお子さんを訪問し、若い方を一人読者に迎えました。また、先月の絵手紙小組には、読者の要望から絵手紙ちぎり絵小組をつくり、その方を会員に迎えています。そして小組会場の公民館の主宰さんが紹介してくれた「絵手紙をした」という方をゲストに迎えました。その方は以前から絵手紙を描いていましたが、「一人で描くより楽しい

支部委員会や班会では、少しでも若い方を迎えたいと話し合い、会員や読者のお子さんを訪問し、若い方を一人読者に迎えました。また、先月の絵手紙小組には、読者の要望から絵手紙ちぎり絵小組をつくり、その方を会員に迎えています。そして小組会場の公民館の主宰さんが紹介してくれた「絵手紙をした」という方をゲストに迎えました。その方は以前から絵手紙を描いていましたが、「一人で描くより楽しい

支部委員会や班会では、少しでも若い方を迎えたいと話し合い、会員や読者のお子さんを訪問し、若い方を一人読者に迎えました。また、先月の絵手紙小組には、読者の要望から絵手紙ちぎり絵小組をつくり、その方を会員に迎えています。そして小組会場の公民館の主宰さんが紹介してくれた「絵手紙をした」という方をゲストに迎えました。その方は以前から絵手紙を描いていましたが、「一人で描くより楽しい

支部委員会や班会では、少しでも若い方を迎えたいと話し合い、会員や読者のお子さんを訪問し、若い方を一人読者に迎えました。また、先月の絵手紙小組には、読者の要望から絵手紙ちぎり絵小組をつくり、その方を会員に迎えています。そして小組会場の公民館の主宰さんが紹介してくれた「絵手紙をした」という方をゲストに迎えました。その方は以前から絵手紙を描いていましたが、「一人で描くより楽しい

支部委員会や班会では、少しでも若い方を迎えたいと話し合い、会員や読者のお子さんを訪問し、若い方を一人読者に迎えました。また、先月の絵手紙小組には、読者の要望から絵手紙ちぎり絵小組をつくり、その方を会員に迎えています。そして小組会場の公民館の主宰さんが紹介してくれた「絵手紙をした」という方をゲストに迎えました。その方は以前から絵手紙を描いていましたが、「一人で描くより楽しい

支部委員会や班会では、少しでも若い方を迎えたいと話し合い、会員や読者のお子さんを訪問し、若い方を一人読者に迎えました。また、先月の絵手紙小組には、読者の要望から絵手紙ちぎり絵小組をつくり、その方を会員に迎えています。そして小組会場の公民館の主宰さんが紹介してくれた「絵手紙をした」という方をゲストに迎えました。その方は以前から絵手紙を描いていましたが、「一人で描くより楽しい

支部委員会や班会では、少しでも若い方を迎えたいと話し合い、会員や読者のお子さんを訪問し、若い方を一人読者に迎えました。また、先月の絵手紙小組には、読者の要望から絵手紙ちぎり絵小組をつくり、その方を会員に迎えています。そして小組会場の公民館の主宰さんが紹介してくれた「絵手紙をした」という方をゲストに迎えました。その方は以前から絵手紙を描いていましたが、「一人で描くより楽しい

母の歴史

聞き書き
山口県 宝迫美穂子さんのお話 (8)

1958年春、裁判所職員になり、東京・文京区湯島の研修所(2年制)に入りました。旧岩崎邸(三菱財閥3代目社長の邸宅)で、庭が広い遺跡のような建物でした。初任給は6300円、女子寮もでき、北海道から九州まで80数人の同期生がいました。ソクタイプ式の速記術(21のキーがあり、略語を駆使し、話し言葉のスピードに対応する)の習得は厳しかったですが、この時期に歌舞伎やオペラなどに触れ、新宿の歌声喫茶に通いました。

1960年4月には、晴れて山口地裁へ赴任しました。裁判所には明治の制度が残っていて、ほとんどの書記官には補がついていて身分差別がありました。20歳の小娘が法廷に立ち会った。1974年のメーデーの宝迫さん。全司法からもたくさん参加

1974年のメーデーの宝迫さん。全司法からもたくさん参加

1974年のメーデーの宝迫さん。全司法からもたくさん参加

1974年のメーデーの宝迫さん。全司法からもたくさん参加

1974年のメーデーの宝迫さん。全司法からもたくさん参加

1974年のメーデーの宝迫さん。全司法からもたくさん参加

1974年のメーデーの宝迫さん。全司法からもたくさん参加

1974年のメーデーの宝迫さん。全司法からもたくさん参加

1974年のメーデーの宝迫さん。全司法からもたくさん参加

1974年のメーデーの宝迫さん。全司法からもたくさん参加

研修後、山口地裁に赴任

60年4月は安保闘争の最盛期で、毎日安保反対のデモが行われていました。午後5時、先輩から「デモに行くよ」と声をかけられると、「はい」とついていきました。一緒に地域や職場の人から声をかけられ、その年の8月には労働組合の執行委員に。活動家へと変わっていく私の姿を見て、父は、娘が投獄され拷問されてしまうのではないかと、涙を流して心配しました。

60年4月は安保闘争の最盛期で、毎日安保反対のデモが行われていました。午後5時、先輩から「デモに行くよ」と声をかけられると、「はい」とついていきました。一緒に地域や職場の人から声をかけられ、その年の8月には労働組合の執行委員に。活動家へと変わっていく私の姿を見て、父は、娘が投獄され拷問されてしまうのではないかと、涙を流して心配しました。

60年4月は安保闘争の最盛期で、毎日安保反対のデモが行われていました。午後5時、先輩から「デモに行くよ」と声をかけられると、「はい」とついていきました。一緒に地域や職場の人から声をかけられ、その年の8月には労働組合の執行委員に。活動家へと変わっていく私の姿を見て、父は、娘が投獄され拷問されてしまうのではないかと、涙を流して心配しました。

60年4月は安保闘争の最盛期で、毎日安保反対のデモが行われていました。午後5時、先輩から「デモに行くよ」と声をかけられると、「はい」とついていきました。一緒に地域や職場の人から声をかけられ、その年の8月には労働組合の執行委員に。活動家へと変わっていく私の姿を見て、父は、娘が投獄され拷問されてしまうのではないかと、涙を流して心配しました。

60年4月は安保闘争の最盛期で、毎日安保反対のデモが行われていました。午後5時、先輩から「デモに行くよ」と声をかけられると、「はい」とついていきました。一緒に地域や職場の人から声をかけられ、その年の8月には労働組合の執行委員に。活動家へと変わっていく私の姿を見て、父は、娘が投獄され拷問されてしまうのではないかと、涙を流して心配しました。

60年4月は安保闘争の最盛期で、毎日安保反対のデモが行われていました。午後5時、先輩から「デモに行くよ」と声をかけられると、「はい」とついていきました。一緒に地域や職場の人から声をかけられ、その年の8月には労働組合の執行委員に。活動家へと変わっていく私の姿を見て、父は、娘が投獄され拷問されてしまうのではないかと、涙を流して心配しました。

【訂正】第6回の写真説明は、「山口・柳井市」ではなく、「京都・福知山市」の誤りでした。